

日本洋書協会会報

BULLETIN OF JAPAN ASSOCIATION
OF INTERNATIONAL PUBLICATIONS

目次

- ・委員会報告〔広報委員会セミナー〕...1
- ・委員会報告・会員短信2
- ・海外ニュース3

委員会報告 <広報委員会>

アカデミーヒルズ六本木ライブラリー
セミナー&見学会

日時：7月9日（金）16:00～17:30
 会員参加者：48名（20社）
 非会員参加者：2名（2社）

従来の図書館がアーカイブとしての機能から出発しているとすれば、会員制の六本木ライブラリーはラーニングとしての『場』の提供を志向しているとのこと。ライブラリーの本質が「情報に効果的にアクセスする仕組み、仕掛け」であると位置づけし、過去の知識から何か新しいものを創り出していくイノベーションの場であるべきと考えられています。個人の属する自治体、企業、大学等から情報を無償で提供されることを当然視してきた環境から、今後ますます企業等の組織はよりフレキシブルな枠組みとなり、そこに属する人々は自分の能力を自分自身で築いていかなければならないという認識に至っての企画であるようです。現在、会員数は若年層のビジネスマンを中心にコミュニティメンバー（月額¥6,000）が1,500人、オフィスメンバー（月額¥60,000）が150人と意外に多く、退社の夕刻から閉館の23時までせいぜい2回転くらいらしく、『知』への潜在需要の高さを再認識させられます。また、メンバー内のコミュニティばかりでなく、森ビル文化事業部では20年近くにわたって「アーク都市塾」という名の社会人向けプロフェッショナル教育を行っておりその塾生とのコミュニティの場として

も目指しているそうです。

六本木ライブラリーの7,500冊の蔵書は「都会的なセンスとコンテンポラリーな知性」をともに兼ね備えたもののみに限定され、アカデミーヒルズ六本木ライブラリー委員長である慶應義塾大学環境情報学部澁川雅俊教授によってそのクオリティが保たれています。ライブラリーは、日本の新しい文化都心となるべく誕生した東京都港区の「六本木ヒルズ」の中核ビルディングである森タワー（54階建て）において、その最上部を占める「森アーツセンター」の49階および50階に位置し、館内からの景観も抜群で、館内には6mの高さを誇るグレートブックス・ライブラリー、回廊に沿うシンプルなガラスの書架列、ライブラリーカフェに加えフリードリンクを備えたラウンジ等が用意されています。

しかしながら、この企画はスペース所有者である森ビルであるからこそ可能なことでもあるような気がします。ライブラリー事業の採算としては苦戦は免れない状況が推察され、アカデミックヒルズの広告塔としての役割があるにしろ、今後の動向が気になるところです。

委員長 鈴木 仁/饒雄松堂書店



第113回 72会ゴルフコンペ

2004年6月26日(土) 小雨のち晴れ 会場：高根カントリー倶楽部 参加者：13名

〔成績表〕

		グロス	ハンデ	ネット	バグ	鶴 竜次	
優勝	鶴 竜次(東亜ブック)	85	7	78	ドラコン	宮川 修	西山幸児
2位	西山幸児(西山洋書)	85	6	79		鶴 竜次×2	
3位	佐藤市郎(川崎航空)	97	17	80	ニアピン	西山久吉	根来恒男
4位	辻 洋(オックスフォード)	99	19	80		辻 洋	
5位	宮川 修(丸善)	94	11	83			鶴 竜次/株東亜ブック

Kisu Fishing in Chigasaki

Expectations were high as we set off from Chigasaki early in the morning of June 26th. But for a couple of people, the waves were higher. Having heard stories of one-day individual totals of 80 *kisu*, all of us on the boat were ready to catch enough fish for kisu tempura for our whole neighbourhoods. Unfortunately, the rough waters didn't just make a couple of people sick but they also made it difficult to know when a fish was nibbling – but humans are smarter than fish (usually) and it wasn't long until the catch started coming in. Mr. Tsukamoto (Taiyo Koeki) led the day with 49 *kisu*, with most others catching 20-some of the fish. Once back in port we mingled with other groups who seemed to have had slightly better luck – one father-son combination had caught nearly 100! Still, the eatin' was good that Saturday night!

Mark Gresham / U. P. S.

会 員 短 信

私ども絵本の家は、海外から洋書絵本・雑貨を輸入し続けて21年を迎えます。長年卸業専門でやってまいりましたが、7月22日(木) 念願であった直営店を開店しました。

全商品をすべてご覧いただけますので、お取引様方におかれましては、ショールームとして有効活用していただけるものになると存じます。

株式会社 絵本の家 小松崎敬子

豊島区目白1-7-14 みさとビル1F(絵本の家オフィスの左隣のビルです。)

Book&Cafe Ehon House

お問い合わせ先：03-3985-3350



◆◆ Wileyの売上上昇

WileyのProfessional/Trade Groupでは、第4四半期の売上が16%も上昇した。会社全体の総収入でも8%の上昇で、9億2,300万ドル、純利益は2%アップの8,880万ドルであった。最も成果の上がった分野はビジネス、建築、料理、教育など。テクノロジー部門は僅かながら減少した。今後他社を買収するかという見方に対して、Pesce氏は、「Wileyは積極的に取り組んでいるが、現在のところ対象となる相手はいない」と述べた。

PW Newline JUN,16,2004

◆◆ ハリー・ポッター次作のタイトル

J.K. Rowling氏は、ハリー・ポッター・シリーズの新作タイトルをHarry Potter and the Half Blood Prince (ハリー・ポッターと混血の王子)とすることを明かにした。この大ベストセラー作品の著者は、そのオフィシャル・ウェブサイト J.K.Rowling.com でこのタイトルを発表したが、それが何時ごろ発売なるかについては言及していない。

ハリー・ポッター・シリーズの5作品は、世界中で2億5千万部以上も売れており、最近作 The Order of the Phoenix は英国で発売されたその日一日だけで178万部もの売上を記録した。映画化3作目 Harry Potter and the Prisoner of Azkaban (ハリー・ポッターとアズカバンの囚人)は、6月初め米国で公開されたが、3日間で9,270万ドルもの興行収入を記録した。次作 The Goblet of Fire も来年11月公開を目指して撮影中だという。

この新作について、作者が明かしたところでは、Half Blood Princeとはハリー・ポッターでもヴォルデ

モート卿でもないらしい。「そして本が出るまでに、私が言えることはそれだけ」と言っている。

Publishing News Online JUL,01,2004

◆◆ Harvard Business School タイトル中国語版

Harvard Business School Press (HBS) は中国、北京のThe Commercial Pressと3年契約を結び、中国語版のHBSタイトルを出版する。The Commercial PressはHBSの主要タイトル150を中国語に翻訳し、出版する予定。この契約には、編集、制作、営業、そして流通各部門のスタッフが互いのオペレーションを学ぶ計画も含まれている。これにより、中国書籍市場への洞察力を深めることがHBSの目的でもある。

Author Link JUN,21,2004

◆◆ フランクフルト・ブックフェア、映画・TVにアピール

2004年度のフランクフルト・ブックフェアは、世界各国の映画プロデューサーへの情報提供を開始する。世界最大規模のブックフェア(2004年10月6日~10日)は、Frankfurt Producer Tour 2004という特別なツアーを計画し、北米、アジア、中央および東ヨーロッパ各国から約30名の映画・TVプロデューサーを招待する。この一団は、2日間のツアーで、フランクフルト地域の視察と、出版社側からプロジェクト計画についてレクチャーを受ける。

ブックフェアでは、今年、映画・TV部門の充実をはかり、映画産業のための独立したエージェント・センターも設置する。ブックフェアと週間新聞Die Zeitが協賛して、Hesse Film Prizeの授与もフェア期間中に行われる計画。この賞には Best International Literary Adaptationが加えられる予定。昨年のフェアには、6,600名もの出展者、180,000名もの入場者が記録された。2004年のフェアでは、「アラブ世界」というメインテーマが掲げられる。

Author Link JUN,22,2004



OVID

content + tools + services™

OBSTETRICS & GYNECOLOGY

OVID Journals@Ovid Full Text
June 28, 2004

PayPerView Account View Cart

Author Title Journal Search Fields Browse Journals Combine Limit Basic Change Database Logoff

#	Search History	Results	Display
1	Cervix Cancer.mp. [mp=title, abstract, full text, caption text]	267	Display
2	obstetrics & gynecology.jn.	5024	Display
3	1 and 2.mp. [mp=title, abstract, full text, caption text]	64	Display

Personal Account Saved Searches Save Search History Delete Searches

Enter Keyword or phrase:

Obstetrics & Gynecology
ISSN 0029-7844

- Volume 103(6) June 2004
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists
Table of Contents 62 Articles
- Volume 103(5), Part 2 May 2004 Supplement
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists
Table of Contents 38 Articles
- Volume 103(5), Part 1 May 2004
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists
Table of Contents 38 Articles
- Volume 103(4) April 2004
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists
- Volume 103(3) March 2004
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists
- Volume 103(2) February 2004
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists
- Volume 103(1) January 2004
© 2004 The American College of Obstetricians and Gynecologists

Ovidプラットフォーム

今日の研究者は膨大な電子情報を利用できる環境下で、自身の研究に必要な情報源を探しています。Ovidプラットフォームは、検索のプロでも初心者でも、短時間で容易に満足のいく検索結果を得ることができる研究環境を提供します。

LWW Contents on Ovid

Lippincott Williams & Wilkins (LWW)社の電子ジャーナルは、2004年1月以降、Ovid Onlineでのみ全タイトルが提供されています(個人購読を除く)。Ovid MEDLINEやEBM情報源(EBM-Reviews, Clinical Evidence等)とLWWコンテンツの組み合わせは、単なる電子ジャーナルとは異なる、強力な臨床支援パッケージを創り出します。Washington Manual of Medical Therapeuticsをはじめとする、診断・治療・看護の現場に欠かせないLWW社の教科書やハンドブックも電子BookとしてOvid Onlineから独占提供されます。

LWW社のプレミア・コンテンツとOvid社のテクノロジーの融合による、新しいLWWの世界をお楽しみ下さい。



www.ovid.com

http://www.usaco.co.jp/

Ovidと共に常に歩む

ユサコ株式会社

〒106-0044 東京都港区東麻布2丁目17番12号

マーケティングセンター Tel.(03)3505-3256 Fax.(03)3505-6282 e-mail/marketing@usaco.co.jp